

# 環境保全における取組み

## 基本的な考え方



メディパルグループは、人々の健康と社会の発展に貢献する企業として、地球温暖化を防止し循環型社会を形成していくために、温室効果ガス排出量の削減や廃棄物の適正処理の推進等を行っています。

## CO<sub>2</sub>排出量、電力使用量の削減と地球温暖化防止への取組み

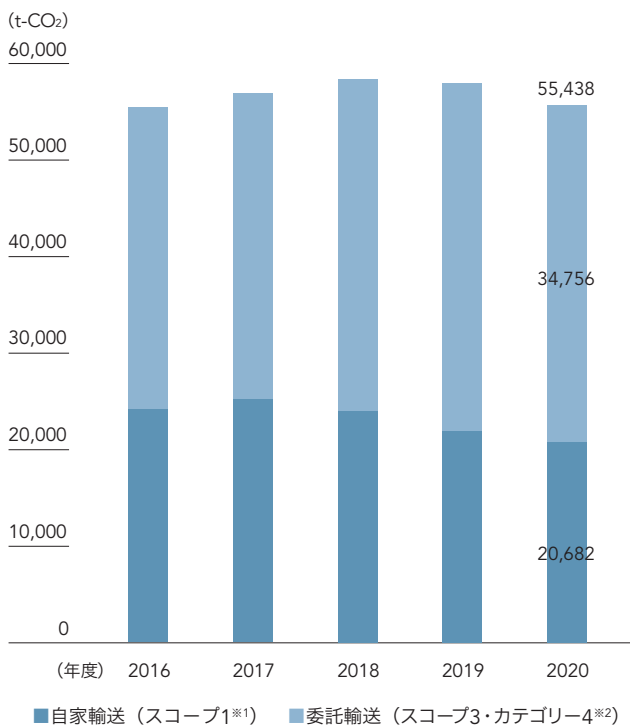
### 輸送に関する排出量

(株)メディセオと(株)PALTACは、省エネ法<sup>※</sup>の特定事業者に該当しており、自社保有車両や委託輸送に伴って発生するCO<sub>2</sub>排出量を集計しています。2020年度のCO<sub>2</sub>排出量は、前年より2,333t-CO<sub>2</sub>減少し、55,438t-CO<sub>2</sub>となりました。

※ エネルギーの使用の合理化等に関する法律

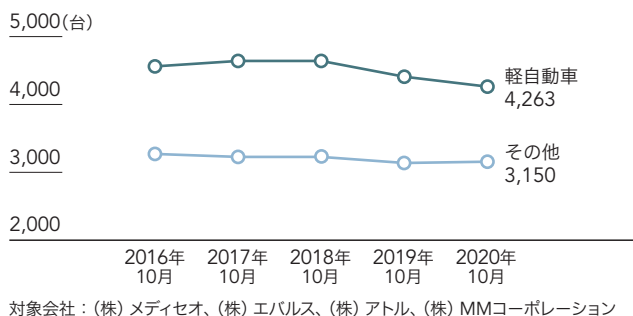
また、医療用医薬品等卸売事業では車両台数を前年度より128台減少させるとともに、燃費が良く環境負荷の低い軽自動車の導入を進めることでCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。

### 輸送に起因するCO<sub>2</sub>排出量の推移



対象会社：(株)メディセオ、(株)PALTAC  
 ※1 スコープ1：自社の燃料使用に伴う排出  
 ※2 スコープ3・カテゴリ-4：自社を除くサプライチェーンによる排出のうち、委託輸送に伴うもの

### 軽自動車の保有台数の推移



### 社有車のCO<sub>2</sub>排出量の推移

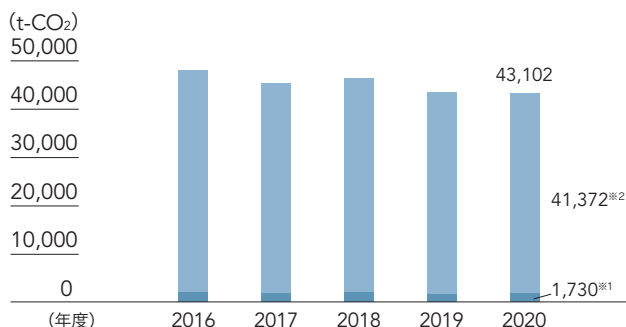
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
給油量 (kℓ)	11,939	12,431	12,245	11,657	11,261
CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	27,718	28,862	28,428	27,109	26,188
車両台数 (台) (10月時点)	7,613	7,828	7,865	7,541	7,413
車両1台当たり排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	3.64	3.69	3.61	3.59	3.53

対象会社：(株)メディセオ、(株)エバルス、(株)アトル、(株)MMコーポレーション  
 ※CO<sub>2</sub>排出量の算定式：給油量 (kℓ) × 単位発熱量 (GJ/kℓ) × 排出係数 (tC/GJ) × 44/12

## 施設からのCO<sub>2</sub>排出量

(株)メディセオと(株)PALTACは、省エネ法の特定排出者であり、ALC・RDCをはじめとした拠点施設でのCO<sub>2</sub>排出量を集計しています。2020年度のCO<sub>2</sub>排出量は、前年より24t-CO<sub>2</sub>増加し、43,102t-CO<sub>2</sub>となりました。

### ■ 施設からのCO<sub>2</sub>排出量の推移



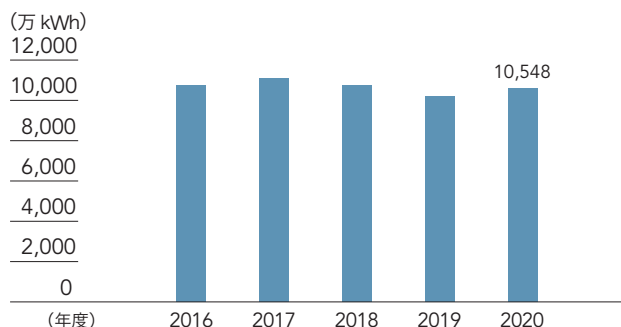
対象会社：(株)メディセオ、(株)PALTAC  
 ※1 スコープ1：自社の燃料使用に伴う排出  
 ※2 スコープ2：事業所の電力使用に伴う排出

## 電力使用量

当社グループは、施設での電力使用量について各社で管理しています。2020年度の電力使用量は10,548万kWhとなりました。

(株)メディセオでは、一部の建屋にデマンド監視装置を設置することで、電力使用量の見える化を行い、最大需要電力の削減を図る等の取組みを行っています。

### ■ グループ全体の電力使用量の推移



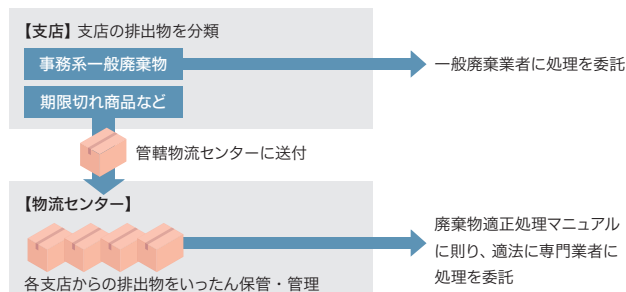
対象会社：(株)メディカルホールディングス、(株)メディセオ、(株)エハルス、(株)アトル、(株)MMコーポレーション、(株)PALTAC、MPアグロ(株)、メディカルフーズ(株)

## 廃棄物処理・資源有効活用

### 廃棄物処理

当社グループは、流通企業として、「循環型社会形成推進基本法」等に従い、医薬品等の廃棄物の処理手順等についてまとめた「廃棄物適正処理マニュアル」を作成し、廃棄物処理を適法・適正に行っています。

### ■ 廃棄物処理の流れ



対象会社：(株)メディセオ、(株)エハルス、(株)アトル、(株)MMコーポレーション、(株)PALTAC

## TOPIC

### 第22回物流環境大賞「低炭素物流推進賞」を受賞

(株)メディセオでは、日本貨物鉄道(株)、日本フレートライナー(株)、日本石油輸送(株)との4社共同プロジェクトにおいて、物流センター間の医薬品移送のモーダルシフト<sup>※</sup>に取り組んでおり、一般社団法人日本物流団体連合会主催の第22回物流環境大賞「低炭素物流推進賞」を受賞しました。

本取組みは、埼玉ALCから、東北ALCまでの医薬品移送を、2021年1月以降、従来の大型トラックによる陸送から鉄道コンテナを利用した輸送へ切り替え、CO<sub>2</sub>排出量を年間約186トンから、そのおよそ90%減にあたる約16トンまで削減できると見込んでいます。また、ドライバーの労働環境改善と物流コスト削減につながります。

今後は関東から北海道、中部、近畿方面の物流センターへの移送についても、モーダルシフトの実施を検討しています。

※モーダルシフト：トラックなどの自動車による貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。